

## 記者発表資料

**R3国道298号千葉外環環境整備その2工事において、「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」及び「見積活用方式」、「間接工事費実績変更方式」を試行し、「施工箇所が点在する工事の積算」及び「難工事指定」、「余裕期間制度」を採用します。**

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調不落対策を試行しております。

今回発注する「R3国道298号千葉外環環境整備その2工事」については、以下のとおり不調・不落対策を試行及び採用します。

### ① 「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績及び賃上げの実施を加算点としています。

### ② 「見積活用方式」

本工事は、交通量の多い現道及び市街地であり、側道交通及び沿道住宅等の出入りを確保しながらの狭隘な箇所での施工となるため、作業効率が低下することが懸念されます。このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

### ③ 「施工箇所が点在する工事の積算」

本工事は、施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられるため、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

### ④ 「間接工事費実績変更方式」

本工事は、運搬費・安全費において、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、その妥当性を確認のうえ実績により共通仮設費（率分）を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

### ⑤ 「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加対象とする「難工事指定」を採用します。

### ⑥ 「余裕期間制度」

受注者が工事の始期と終期を任意に設定できる「フレックス制度」を採用します。

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、千葉県政記者会、松戸記者クラブ、市川市政記者クラブ

### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 首都国道事務所  
電話 047-362-4111（代表）

副所長 たけだ 竹田 ひろあき 弘明 工務課長 すずき 鈴木 あきら 彰

## 《工事概要》

(1) 工事名：R3国道298号千葉外環環境整備その2工事

(2) 工事場所：【上矢切・中国分地区】自) 千葉県松戸市上矢切  
かみやきり なかくぶんちく ちばけん まつとし かみやきり  
ちばけん いちかわし なかくぶん 5ちょうめ  
至) 千葉縣市川市中国分五丁目  
すがの ちく ちばけん いちかわし すがの 3ちょうめ ちさき  
【菅野地区】 千葉縣市川市菅野三丁目地先  
たじり こうや ちく ちばけん いちかわし たじり 2ちょうめ  
【田尻・高谷地区】 自) 千葉縣市川市田尻二丁目  
ちばけん いちかわし こうや  
至) 千葉縣市川市高谷

(3) 工期：工事の始期から令和5年3月31日まで

(4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式） 施工体制確認型

(5) 工事種別：維持修繕工事

(6) 工事内容（概要）：【上矢切・中国分地区】遮音壁工 約14m、応急処理工 1式  
【菅野地区】 遮音壁工 約22m  
【田尻・高谷地区】 応急処理工 1式

## 《公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）について》

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績及び賃上げの実施を加算点としています。

## 《見積活用方式について》

○見積の提出を求める工種

- ・【上矢切・中国分地区】直接工事費のうち「遮音壁工」
- ・【菅野地区】 直接工事費のうち「遮音壁工」

○見積の提出を求める理由

施工箇所は、市街地であり沿道全域に店舗や住宅等が連担し交通量も多い箇所です。

施工にあたっては、現道交通の出入り、かつ歩行者・自転車の通路を確保しながら限られた狭隘な作業ヤード内での施工とならざるをえず、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じると考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

## 《施工箇所が点在する積算について》

本工事は施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられるため、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

#### 《間接工事費実績変更方式について》

##### ○実績により変更を行う工種

- ・ 共通仮設費（率分）のうち、「安全費」及び「運搬費」

##### ○実績により変更を行う理由

本工事箇所は、市街地であり沿道全域に店舗や住宅等が連担し交通量も多い箇所です。そのため、現道交通、沿道店舗等の出入り及び歩行者・自転車の安全を確保しながら施工しなければならず、交通規制帯をこまめに設置して施工しなければならないことから、「安全費」において標準歩掛との乖離が想定されます。

また、沿道全域に店舗・住宅等が連担していることから、施工箇所周辺に資機材置き場の確保が困難であり、その都度資機材の搬入が必要となるため、「運搬費」において標準積算と乖離が想定されます。

以上の点より、間接工事費実績変更方式の対象項目として「安全費」「運搬費」を対象とします。

#### 《難工事指定について》

本工事は、施工箇所が狭隘な箇所であり、作業スペースの確保が困難であることから厳しい施工条件であるため、「難工事指定」を採用します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。また、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間で評価対象となります。

#### 《余裕期間制度について》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働力確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和5年3月31日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

#### 《スケジュール》

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| ○入札公告、入札説明書、見積依頼書 交付     | : 令和4年7月21日（木） |
| ○競争参加資格確認申請書・資料、見積書 提出期限 | : 令和4年8月 4日（木） |
| ○入札書・工事費内訳書 提出期限         | : 令和4年9月16日（金） |
| ○開札日                     | : 令和4年9月22日（木） |

# 公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は  
一般土木  
C、B+C工事  
維持修繕等

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出  
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮  
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争・総合評価落札方式  
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

**公示** (工事内容・入札時期・落札方式等)

工事参加希望の意思確認・技術資料の提出  
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)

参加要件は企業とし  
技術者要件は求めない

指名基準による選定

発注(指名通知)  
以降は指名競争・総合評価落札方式の手続き

指名競争・総合評価落札方式により落札決定

(標準点100点+加算点(11点)+施工体制評価点(30点))÷入札価格=評価値  
※加算点は災害活動実績+賃上げの実施に関する評価

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上